

大学管理本部

第1 審査の概要

1 審査の対象

(1) 一般会計

(2) 財 産

2 実地審査場所

大学管理本部

3 審査の方法

知事から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、大学管理本部執行分を審査した。

審査に当たっては、

(1) 決算計数は、正確であるか

(2) 予算の執行は、適正かつ効率的になされているか

(3) 財産の取得、管理、処分は適正に処理されているか

などに主眼を置き、決算書等及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

第2 審査の結果

1 決算計数について

審査に付された一般会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は、誤りのないものと認められる。

2 事業執行等について

特に意見を付する事項はない。

第3 決算の概要

1 歳入歳出決算の状況

(1) 一般会計

ア 歳入

(単位：千円、%)

科目(款)	予算現額	収入済額	比較増()減	収入率
使用料及手数料	4,188,730	4,362,133	173,403	104.1
国庫支出金	16,278	18,056	1,778	110.9
寄附金	120,000	113,090	6,910	94.2
諸収入	1,175,602	1,305,121	129,519	111.0
計	5,500,610	5,798,401	297,791	105.4

歳入は、第7款使用料及手数料ほか3款であり、予算現額55億61万円、収入済額57億9,840万余円、比較増額2億9,779万余円、収入率105.4%である。

歳入の主な内容は、

- ・使用料及手数料のうち、都立4大学の授業料等の学務使用料 41億3,007万余円
 - ・諸収入のうち、受託研究費・共同研究費等の学務費受託事業収入 5億781万余円
 - ・諸収入のうち、都立4大学の入学金の都立学校入学金 5億602万余円
- である。

なお、第7款使用料及手数料(項：使用料)において、収入未済額(56万余円)、第12款諸収入(項：雑入)において、収入未済額(9万余円)が生じている。

イ 歳出

(単位：千円、%)

科目(款)	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
学務費	22,100,322	19,492,972	0	2,607,349	88.2
諸支出金	30	30	0	0	100
計	22,100,352	19,493,002	0	2,607,349	88.2

歳出は、第14款学務費及び第18款諸支出金の2款で6項16目に区分し執行しており、予算現額221億35万余円、支出済額194億9,300万余円、不用額26億734万余円、執行率88.2%である。

主な執行内容は、

- ・管理部の管理運営に従事する職員の給料・諸手当及び管理事務に要したものの
(項)大学管理費 (目)管理費 8億7,974万余円
- ・産学共同研究等外部資金研究に要したものの
(項)大学管理費 (目)研究奨励費 7億4,319万余円

- ・新大学の施設整備に要したものの
 (項) 大学管理費 (目) 施設整備費 12億2,997万余円
 - ・都立大学の管理運営に従事する教職員の給料・諸手当及び管理事務に要したものの
 (項) 都立大学費 (目) 管理費 105億3,318万余円
 - ・科学技術大学の管理運営に従事する教職員の給料・諸手当及び管理事務に要したものの
 (項) 科学技術大学費 (目) 管理費 16億4,392万余円
 - ・保健科学大学の管理運営に従事する教職員の給料・諸手当及び管理事務に要したものの
 (項) 保健科学大学費 (目) 管理費 18億2,790万余円
 - ・都立短期大学の管理運営に従事する教職員の給料・諸手当及び管理事務に要したものの
 (項) 短期大学費 (目) 管理費 13億357万余円
- である。

2 財産の管理状況

ア 財産

区 分	平成15年度末現在高	平成14年度末現在高	増()減
1 公有財産			
土地	632,937.20 m ²	632,908.31 m ²	28.89 m ²
建物	239,745.52 m ²	239,814.92 m ²	69.40 m ²
無体財産権	著作権 2件	著作権 2件	0件
2 物品	4,056点	4,205点	149点
3 債権	7,817,904円	10,067,352円	2,249,448円

大学管理本部で所管している財産は上表のとおりであり、その主な増減事由は、

- ・土地の増加は、科学技術大学敷地 (30.67m²) の実測増によるもの
- ・建物の減少は、都立大学清掃員詰所 (69.40m²) を取り壊したことによるもの
- ・物品の減少は、購入等 (142点) 及び廃棄 (291点) によるもの
- ・債権の減少は、医療技術短期大学修学資金貸付金の償還によるもの

である。

イ 債権のうち貸付金の年度末現在高

(単位：千円)

貸付金の種類(名称)	平成15年度末残高	滞納(収入未済)額
医療技術短期大学修学資金貸付金	7,817	0